

## 古典のすすめ

法学部教授 伊藤 不二男

近頃は情報化社会といわれるせいか、夥しい数の本が出版される。しかし、そのなかのどれも手に取ってみる程のものはない。こんなときには、むしろ腰を据えて、古典でも読むにこしたことはないと思う。

しかし古典とは、ただ古い時代に書かれた書物というだけのものではない。それは同時に、いつの時代の人が読んでも深い感銘をうける、という内容をもったものでなくてはならない。それゆえにこそ、古典は永遠の生命をもつ、といわれるのである。

そうした古典のなかで、とくに私の関心を引くのは、ビトリアの『神学特別講義』である。

ビトリアは、ルネッサンス時代のスペインの優れた神学者であり、オランダのグロティウスと共に国際法の創始者といわれる。が、かれは、サラマンカ大学の公開の特別講義のなかで、コロンブスの新大陸発見（1492年）につづく、スペインの植民地開拓運動の犠牲となったアメリカのインディオを、スペイン人の残虐非道な行いから保護する必要を説いた。

そして、そのために、ヨーロッパのキリスト教徒ばかりでなく、未開の野蛮人とよばれるそれらのインディオをも含めて、すべての人間が人間としての共通の本性によって普遍的な人類社会を構成するが、その社会にはすべての人間に当てはまる共通の法が支配し、その法によって人間はだれでも、従ってアメリカのインディオですらも、人間としての基本的な権利を保護されることを主張した。

このかれが説いた全人類に共通の法が支配するという根本の思想が、結局、今日の国際法の基本観念となり、

その学問の出発点となったのである。

しかしながら、その時代にあつて、未開の野蛮人といわれるインディオとヨーロッパのキリスト教徒とが、人間として平等であると説くことは、よほどの勇気が必要であつたにちがいない。ことにビトリアの場合、かれはローマ教会に所属していたとはいえ、やはりスペイン人であるが、かれのそうした主張は、スペイン国王の植民地政策に対して批判を加えることにもなるのであるから。

それにしても、ルネッサンスは「人間」の発見の時代といわれるが、その「人間」についてのその時代の根本の見方なり考え方を、新大陸発見がまきおこした、インディオの保護というその時代の重大な現実の問題に即して、ビトリアほどははっきりとした考えを示した学者は、そう多くはあるまい。

それはとにかく、このように、古典は人間存在の根本の在り方をわれわれに教えてくれる。そこに、古典の古典たるゆえんがある、といえるのではなからうか。

そうすると、われわれの図書館にも、そうした古典が沢山備えられている。プラトンやアリストテレスの全集はもとより、アウグスティヌスのものや、モンテーニュやパスカル、それにルソーのものなど。また、もう少し新しい時代のものとしては、カール・ヒルティエーのものなども、もう古典といってもよいのかもわからない。

諸君はそれらの古典のなかから、自分の好みに従ってどれかを選び、大学4年の間に、学校の教科書とは別に、腰を据えて、その古典をゆっくりと読んでみてはどうであらうか。それは、きっと諸君の将来に、人生の大きな力となるに違いないと思う。  
(国際法)

## 文 献 検 索 の 苦 勞 (4)

文学部教授 木 下 浩 利

ときどき聞く話であり、私自身も確認しているが、大学でレポートを課せられた学生が他の教授または高校の教師の所へ行って「何かいい参考書はないですか」と聞くことがある。「今までにどんなのを読んだ」と問いつくと、「まだ何も読んでいません。何を読んでいいかわからないのでここに來たのです」と、いかにも不服そうに答える。こういう学生は、研究テーマに関係のある文献をさがし出す作業—文献検索—が研究の重要な段階であること、しかも時間と労力と金のかかる段階であることを心得ていないらしい。

文献検索の方法は学問の分野によってかなり事情が違ふようである。英語学の中でも記述的・理論的な面に関心をもつ私の場合には、既成の文献目録の類はあまり役に立たない。かと言って生来無精な私にとって、日頃からいろいろな問題について件名目録を作っておくようなことは到底できない。それであるテーマについて研究する場合には、新しい研究書の中から参考文献の表がもっとも充実しているものを選び、その表をコピーにとる。そしてその中の重要な文献には○をつけ、手許または図書館にあるものについてはその○を黒くぬりつぶしておく。コピーは見開き2ページであるから半分に切って白紙の左側にはりつけておくと右の余白には新しく発見した文献を記入することができる。

文献を追加する方法としては、第1に、新しい文献を読んでその中から別の新しい文献をさがし出す「いもづる」式の方法がある。第2に、関係の深い雑誌数十種の最近数年間の目次に目を走らせる方法がある。これはなかなか苦痛であるが収穫も多く、また副産物として別のテーマに関するおもしろい論文を発見することもある。第3に、新しい出版物の目録や内容紹介誌を調べることこれは勿論大切である。最近雑誌の目次をゲラの段階で写真にとって収録した速報誌 (Current Contents) も出ている。内容を要約して紹介したものとしては Language and Language Behavior Abstracts (LLBA) がある。これは32の言語で書かれた約1,000種の逐次刊行物中の論文を項目別に分類してその要旨を英語で紹介した

もので年に数回出ている。巻末には著者、件名、書評などの索引がついている。国内の雑誌・紀要中の論文については「雑誌記事索引」(国立国会図書館参考書誌部)を見る。

以上は、あるテーマについてどのような文献があるかをさがり出す方法である。ある特定の文献を入手する方法としては、図書の場合は本学図書館の図書目録、論文の場合は「学術雑誌所蔵目録」を調べる。さがして論文を含む雑誌・紀要が図書館にない場合には、念のためにその分野の論文を収録している図書を開いてみる。これらは Readings in … とか…Reader とかいう題名のものが多い。国内の大学の紀要に発表された論文であれば「英語学論説資料」(論説資料保存会編)も見えてみる。

問題の文献が本学の図書館にないことを確認したあとは同じテーマを研究している友人知人に問い合わせるか、図書館の参考係を通じて国内外の図書館に照会するかである。本学の図書館では、たとえば英国国立図書館貸出部(BLLD)の文献複写サービスも容易に利用できる。BLLDの400万以上の蔵書の中には90か国から収集された150万の研究レポートも含まれている。英国国立図書館参考部門の20万タイトルの逐次刊行物をはじめ、英国内の主要図書館の蔵書もこのBLLDを通じて利用することができる。

最後に自分の集めた資料を整理しておくことも大切である。図書や雑誌の特集号などはテーマ別に配列しておくほうが利用上便利である。月刊の雑誌、たとえば「言語」や「英語教育」などは各号が何らかの特集号で、数年おきに同じテーマがめぐってくる。それを数回分揃えておくとの自分の不得意とする分野の動向をつかむ際に便利である。文献のコピーはすべて同じサイズに統一してテーマ別にファイルに収めておくほうがいい。

文献検索は私にとって苦手のことである。もっと要領のいい方法を実行しておられる方も多いことと思う。そういう方の教えを受けることができれば幸いである。

(英語学)



## レファレンス事例(3)

## 参 考 係

最近利用者から寄せられた参考質問のうちから、2・3の事例を紹介して、他の利用者の参考に供したい。

〔質問1〕 4～5年前山口大学経済学部を定年退職した安田充教授の略歴と著作が知りたい。

回答例：教授が大学を定年退職したり、還暦をむかえた場合、それを記念して——教授退官記念論文集とか、——教授還暦記念論文集とかが発行されることが多くなっているし、慣行になっているようです。これらの論文には、その教授の略歴と著作目録が付いていますので、先づ安田充教授を記念したこれらの論文集が刊行されているかどうかを調べる。それには「社会科学系研究者著作目録の索引」—経済・経営・法学編—（1965年～1978年3月）（竜谷大学社会科学研究所）昭53、3 を見ると「山口経済学雑誌」の25巻 3/4 合併号（昭50、7）のpp. 181—85に略歴、著作目録が出ている。

〔質問2〕 法人税法の歴史的変遷と、その改正部分が見たい。

回答例：「現行法規総覧」43巻 租税・専売編の第2節に法人税法が出ている。最初に改正の歴史的変遷（沿革）が載っていて、次に現行の法令が出ている。改正毎に一年一月一日 法律第一号で改正公表をしたかが書かれているので、官報で調べる場合は、その日付のところの官報を見ると載っている。

個々の法令、その沿革等はそれぞれ個々に出ている法令集等を見てもよい。この場合「法人税の法令と通達」巻本 がよい。

〔質問3〕 イギリスの法令 Partnership Act, 1890を見たいのですが。

回答例：イギリスの法令全書のタイプの法令集として Law Reports, Statutes (since 1866) がある。これで1890年の巻のものと見ると載っている。

また古い法律の正文を知るには、Statutes of the Realm, 11vols., 1225～1713があります。これはこの時期の法律の正文を示すものとして最も正確なもの、とされています。

〔質問4〕 文部省の科学研究費補助金の申請をしようと思いますが、54年度に採択された分の研究者と研究課題を知りたい。

回答例：次年度科研費の申請のメ切は大体12月初旬で、その結果が年度の10月初旬に、日本学術振興会の「学

術月報」の増刊として、一年度文部省科学研究費補助金の配分結果、として公表されます。

一般的な提出状況ならば、「学術月報」の4月号にその年度の計画調書の提出状況が載ります。

〔質問5〕 株券の上場審査基準について知りたい。

回答例：株券の上場審査基準は、現在日本には8カ所の証券取引所があり、東京、名古屋、大阪と地方（札幌、新潟、京都、広島、福岡）の4つの基準が設けられている。「証券六法」（新日本法規）の第3編 証券取引所関係の項には、東京と大阪の取引所の基準がでている。

なおその他の取引所の基準は、福岡証券取引所の証券資料室で利用できます。

〔質問6〕 J. Bartlet Brebner ; Laissez-faire and state intervention in nineteenth-century Britain. という論文のある雑誌か、図書からコピーしたのだが、何という雑誌、図書からコピーしたのか調べてほしい。

回答例：コピーを見るとわかるのは、著者と論文名と頁(252-262)しかわからない。論文それ自体が頁の途中から始まっているので、雑誌か、図書の場合でもある主題をもった論文の寄せ集めであろうと、出版年もわからないので、大体的見当をつけて調べるしかない。このように雑誌か図書かわからないような場合は、雑誌記事と図書の両方を納めた主題別の Bibliography が役に立つ。この場合内容がイギリス史に関連するようだから Bibliography of British History, 1851～1914. (Oxford, 1976) の著者索引から引くと Laissez-faire … はこの図書に2カ所の記述があることがわかる。それで見ると最初は、J. Econ. Hist. に出ていることがわかるが、コピーの頁と合わないで、次を見ると Reprint として Carus-Wilson, Essays の3巻 pp. 252-62に載っていることがわかる。これはコピーの頁とも合致しているので、現物とコピーを照合してみると一致した。

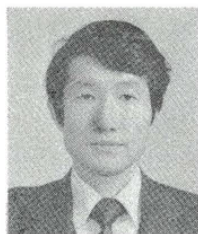
355 BREBNER (JOHN BARTLET). 'Laissez-faire and state intervention in nineteenth-century Britain'. *J. Econ. Hist.* viii (1948). Suppl. 59-73. Repr. in Carus-Wilson, *Essays* (4066), III, 252-62.

4066 CARUS-WILSON, (ELEANORA MARY) ed. *Essays in economic history*. 3 v. 1954-62.

Articles repr. from a variety of js. for the Econ. Hist. Soc.

## 学生時代の夏休み

商学部助教授 井 田 雄 平

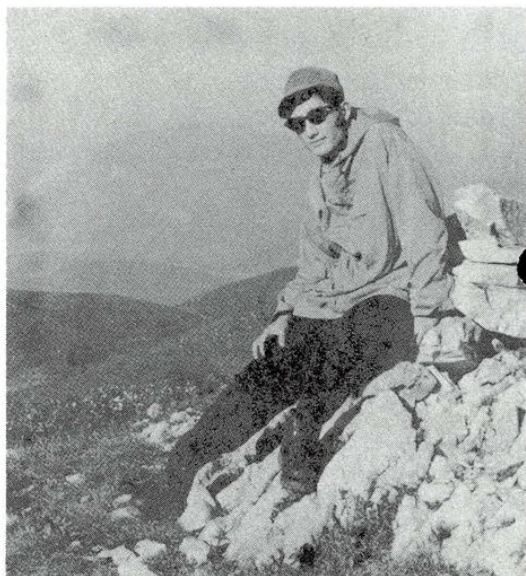


私は琵琶湖の東にある静かな城下町彦根で学生時代を過した。自宅通学だった私には、夏休みは淋しい季節であった。7月になると、親しい仲間はみんな帰省してしまい、私は彦根にひとり取り残されてしまう。仕方なく、私はひとりで山歩きや読書をして、9月の大学の喧噪を待つのである。

私が山歩き（冬山に入ったり、険しいルートに挑んだりする訳ではないから、登山と書くのは些か口はばったい）を初めて経験したのは小学3年生の夏休みである。身体の弱かった私を鍛えようとの父親の親心であったろう。その時に伊吹山（滋賀県の最高峰）に登って以来、運動神経が鈍くて球技がダメなことや、肥厚性鼻炎で泳ぎを敬遠したこともあって、近くの山にはよく登ったものである。学生時代の夏休みには北アや南アに足をのばすようになり、縦走途中で転落したり、台風に遇って這々の体で逃げ帰ったりという危い経験もした。

普段は至って臆病な私に、時に自分でも驚くほど大胆になったりするの、学生時代の山歩きの所為ではないかと思っている。一昨年の夏休みには、乗鞍山頂から白骨温泉まで、雷雨の中を歩いて降りるなんて馬鹿なことをやってしまった。登山道が消えていて危険だから止せと山小屋で止められたのを振り切って歩き出したら、案の定、背丈ほどのブッシュで道が分からなくなり、おまけに雷雨は激しくなって、一時はもうダメかと観念した。それだけに、無事下山して温泉につかりながら飲んだ酒の味はまた格別であったが……。

さて、私のもうひとつの休暇の過ごし方である読書に移ろう。確か中学3年生の冬休みに『チボー一家の人々』を、それこそ寝食を忘れて1日半で読了し、痛く感動して以来、読書は私の大きな楽しみとなっている。とくに夏休



（想い出の一枚）

みの読書は私の安上りの消暑法であって、比較的凌ぎやすい午前中に本をひも解いて、暑い午後は読了した本を枕に昼寝を楽しむという寸法である。学生時代の夏休みにもあまり専門書を読んだ記憶がないのは、午後の昼寝に悪影響を及ぼすことを慮たためであろう。昼寝の枕には厚手の文芸書が一番良いようだ。

当時の私のお気に入りには高橋和巳の『邪宗門』や『怒の器』や『憂鬱なる党派』であって、いずれも厚手の文芸書である。柴田翔の『されどわれらが日々』の方を好む私の仲間には高橋和巳は不評であったが、私には彼のやたらと漢語表現の多いゴツゴツとした文体はたまらない魅力だったし、主人公が心理的にも論理的にも追込まれて破滅してしまうというプロットに何故か共感してしまうのであった。

今時の学生さんは夏休みをどのように過すのであろうか。おそらく大半の学生さんが旅行に出掛るのであろう。なかには海外へという人も居るかもしれない。学生時代の夏休みを山歩きや読書で過し、いまだにそうした習慣に囚われている私には、まことにうらやましい限りである。  
(貿易論)



# 昭和54年度 図 書 館 利 用 統 計

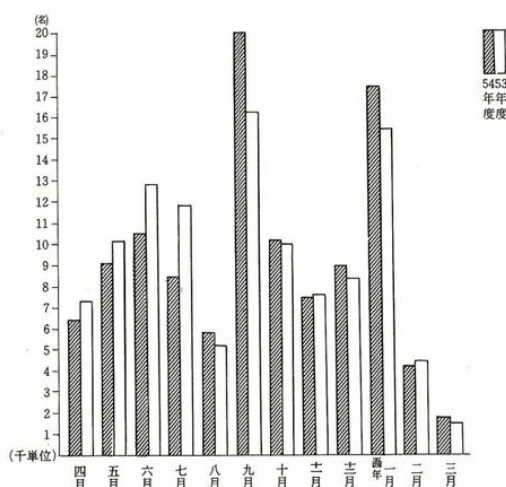
## ●どんな内容のものがどれだけ増加したか

| 分類<br>区分       | 0     | 1     | 2     | 3     | 4    | 5   | 6     | 7     | 8     | 9     | 計      |
|----------------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
|                | 総 記   | 哲 学   | 歴 史   | 社会科学  | 自然科学 | 工 学 | 産 業   | 芸 術   | 語 学   | 文 学   |        |
| 和 書            | 520   | 917   | 901   | 4,707 | 818  | 314 | 891   | 569   | 412   | 1,302 | 11,351 |
| 洋 書            | 789   | 827   | 626   | 1,854 | 173  | 88  | 397   | 68    | 910   | 1,377 | 7,109  |
| 計              | 1,309 | 1,744 | 1,527 | 6,561 | 991  | 402 | 1,288 | 637   | 1,322 | 2,679 | 18,460 |
| 53 年 度<br>和洋合計 | 1,080 | 1,641 | 1,427 | 7,151 | 857  | 352 | 1,302 | 1,065 | 1,238 | 3,334 | 19,447 |

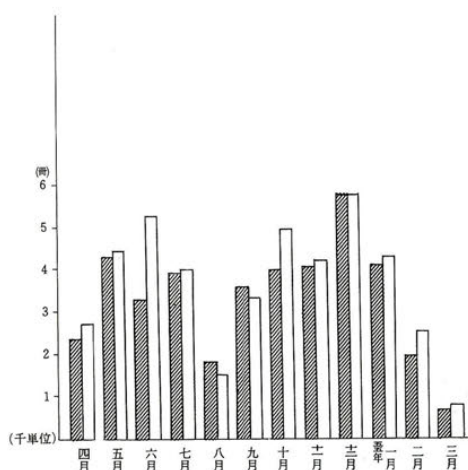
| 視 聴 覚 資 料 |       |         |           |          |     |      |
|-----------|-------|---------|-----------|----------|-----|------|
| レ コ ード    | テ ー プ | マイクログラム | マイクロフィッシュ | フィルムスライド | 絵 話 | 計    |
| 20枚       | 44リール | 451リール  | 1 シート     | 6 ロール    | 18点 | 540件 |

## ●この2年間にどれだけ利用されたか

表Ⅰ 入館者数



表Ⅱ 館外貸出冊数



## ●その他の利用統計

### ○文献複写

| 利用者区分 | 種別     | 電 子 複 写 |          | マイクロフィルムからの引伸 |       |
|-------|--------|---------|----------|---------------|-------|
| 学 内   | 教 員    | 884 件   | 29,717 枚 | 2 件           | 21 コマ |
|       | 学 生    | 4,241 件 | 44,374 枚 |               |       |
|       | 学外(受付) | 184 件   | 7,572 枚  |               |       |
| 合 計   |        | 5,309 件 | 81,663 枚 | 2 件           | 21 コマ |

### ○特別利用者 317名 (310)

|      |            |     |          |
|------|------------|-----|----------|
| 卒業生  | 207名 (201) | 聴講生 | 23名 (19) |
| 相互利用 | 63名 (61)   | その他 | 24名 (29) |

○他大学図書館へ本学学生の相互利用希望 68件 (34)

○視聴覚機材貸出 13件 (14)

○学生の図書購入希望 257件 (228)

○投 書 4件 (13)

○紛失弁償図書冊数 31冊 (2)

○閉架図書閲覧者 2,624名 (2,113)

|             |                |
|-------------|----------------|
| 卒 業 論 文     | 140名 (169)     |
| 図 書         | 957名 (738)     |
| レ コ ード      | 36名 (158)      |
| その他 (新聞・雑誌) | 1,491名 (1,048) |

※ ( ) 内は53年度

## 〒 814 福岡市西区西新 6 丁目 2-92 電話 (092) 841-1311 (大代表)

図 書 館 報 No. 8 4 訂 正

| ページ | 左. 右 | 該当箇所   | 誤                     | 正                   |
|-----|------|--------|-----------------------|---------------------|
| 2   | 左    | 上から21行 | コピーは見聞き2ページ…          | コピーは見開き2ページ…        |
| 〃   | 〃    | 下から5行  | …にとつて収録した…            | …にとつて収録した…          |
| 3   | 右    | 上から14行 | nineteenth-centntury… | nineteenth-century… |
| 5   | 左    | 表 I    | 入 館 者 数               | 入 館 者 数             |
| 〃   | 左    | 表 I    | 横軸の年：五四年              | 横軸の年：五四年をとる         |
| 〃   | 右    | 表 II   | 〃 : 五五年               | 〃 : 五五年をとる          |

## 昭和55年度 指定図書目録

(Reserved Books)

指定図書とは、講義担当の先生方が、その講義に直接関連して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えております。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

## 教養課程・文学部 (国際文化)

有田 忠郎 &lt;西洋文学&gt;

立体フランス文学 篠沢秀夫 朝日出版社  
ブラックフォード, M.G.

A short history of the American West. Stout  
Harper-Row

The Western story. Durham  
Harcourt Brace Jovanovich

樋口 進 &lt;中国文学(2)&gt;

鲁迅選集 全13巻 増田 渉 (他) 岩波書店  
<演習>

中国現代文学選集 全20巻 小野 忍 (他) 平凡社  
現代中国文学講義 全5冊 王 瑤 河出書房

平野 正 &lt;近代中国史&gt;

中国の近代化と知識人 シュウォルツ 東大出版会  
三民主義 上・下 孫 文 岩波書店

伊藤 不二男 &lt;法学&gt;

現代日本の法思想 小林直樹 有斐閣  
近代日本法思想史 野田良之 有斐閣

唐木田 芳文 &lt;地学&gt;

地球磁場とその逆転 力武常次 サイエンス社  
地球の物理 日本物理学会 丸善  
生きている地球 オジャカンガス(他) サイエンス社  
結晶化学入門 下 エバンス 培風館  
<資源論>

地下資源 岡野武雄 共立出版  
海洋の資源と環境 スキンナー (他) 共立出版  
石油資源の科学 木下浩二 共立出版  
資源論 黒岩俊郎 勁草書房

小樋井 滋 &lt;倫理学&gt;

悪霊 ドストエフスキー 河出書房  
哲学・倫理学入門 瀧沢克己 法蔵館

罪と罰 ドストエフスキー

河出書房

&lt;倫理思想史&gt;

新倫理学 大島康正

自由書房

&lt;近代文化に関する特講&gt;

経験と思想 森 有正

岩波書店

日本資本主義の精神 山本七平

光文社

我と汝・対話 ブーバー

みすず書房

&lt;演習&gt;

Die kirchliche Dogmatik III/4. Barth

Evangelischer

Church dogmatics III/4. Barth

Clark

黒瀬 保 &lt;英語1年ア&gt;

The spectator; a lexical and stylistic approach.

伊藤弘之 篠崎書林

久屋 孝夫 &lt;英語(1)&gt;

母子家庭 (現代のエスプリ)

至文堂

ドキュメント女の百年(全6巻) もろさわようこ 平凡社

現代の女性 (ジュリスト増刊)

有斐閣

女が職場を去る日 沖藤典子

新潮社

性の署名 マネー (他)

人文書院

性差の社会心理 東 清和

大日本図書

&lt;英語(2)&gt;

偏見の構造 我妻 洋 (他)

NHK

人種の差別と偏見 新保 満

岩波書店

人種とは何か 寺田和夫

岩波書店

&lt;英語(3)&gt;

日米関係史 細谷千博 (他)

東大出版会

ニッポン日記 ゲイン

筑摩書房

指導者追放 ベアワルド

勁草書房

&lt;英語(4)&gt;

アイヌと日本人 更科源蔵

NHK

科学の名による差別と偏見 トバック

新曜社

南ア共和国の内幕 伊藤正孝

中央公論社

名を奪われて キム

サイマル出版会



- 65万人—在日朝鮮人 宮田浩人 (他) すずさわ書店  
 松本達郎 <自然科学概論>  
 物理学とは何だろうか 上・下 朝永振一郎 岩波書店  
 科学史通論 島村福太郎 (他) 関東出版  
 科学とは何か 八杉龍一 東京教学社  
 自然科学概論 浜 健夫 (他) 関東出版  
 <地学>  
 地球はいつ生まれたか 小嶋 稔 東大出版会  
 新地学 藤田和夫 (他) 学術図書  
 <進化論>  
 地球生物の進化 堀田 進 博文社  
 地球史 小嶋 稔 岩波書店  
 The history of life. McAlester Prentice-Hall  
 人類進化学入門 埴原和郎 中央公論社  
 Patterns of evolution as illustrated. Hallam Elsevier  
 中島和男 <西洋文学>  
 リヒャルト ワーグナーの芸術 渡辺 護 音楽之友社  
 ワーグナー ヴェステルンハーゲン 白水社  
 ワーグナー変貌 遠山一行 (他) 白水社  
 ワーグナーと現代 マン みすず書房  
 ワーグナーとニーチェ フィッシャー＝デスカウ 音楽之友社  
 斎藤末弘 <日本文学Ⅲ・Ⅷ>  
 太宰治論 奥野健男 角川書店  
 太宰治論 佐古純一郎 審美社  
 太宰治論序説 斎藤末弘 桜楓社  
 太宰治全集 全12巻 別巻1 筑摩書房  
 シート, L. K. <キリスト教学Ⅱ>  
 現代キリスト教問答 松木治三郎 (他) 新教出版社  
 キリスト教入門 岩村信二 キリスト新聞社  
 罪人と食事を共にする神 熊谷政喜 聖文舎  
 <キリスト教学Ⅲ (後期)>  
 あなたの神は小さすぎる フィリップ 小峯書店  
 神 オット 新教出版社  
 奇跡 ルイス みくに書店  
 聖書のことば 宮本武之助 潮文社  
 宗教の哲学 ヒック 培風館  
 <キリスト教学Ⅳ>  
 一粒の麦死なずば 宮田光雄 新教出版社  
 生きる道 松永晋一 新教出版社  
 寄留の民の叫び 李 仁夏 新教出版社  
 名前と人権 崔 昌華 酒井書店  
 人間賀川豊彦 黒田四郎 キリスト新聞社  
 白 櫻 三四郎 <社会心理学>  
 個人の社会的行動 水原泰介 (他) 東大出版会  
 人間関係の社会心理学 古畑和孝 (他) サイエンス社  
 社会心理学 ニューカム 岩波書店  
 集合現象 池内 一 (他) 東大出版会  
 集団行動 末永俊郎 (他) 東大出版会  
 多久和 新 爾 <日米比較文化論・演習>  
 アメリカ研究入門 斉藤 真 (他) 東大出版会  
 アメリカの中の日本人 キタノ, H. 東洋経済  
 パスのアメリカ 亀井俊介 冬樹社  
 文化人類学読本 吉田禎吾 東洋経済  
 現代アメリカ論 本間長世 (他) 東大出版会  
 田村茂夫 <法学>  
 外国法の調べ方 田中英夫 (他) 東大出版会  
 法学文献の調べ方 板寺一太郎 東大出版会  
 法律用語の基礎知識 谷口知平 (他) 有斐閣  
 世界法史概説 田中周友 有信堂  
 山中耕作 <日本文学>  
 古事記注釈 西郷信綱 平凡社  
 古事記全註釈 倉野憲司 三省堂  
 日本昔話辞典 稲田浩二 (他) 弘文堂  
 日本の歴史 2 三品彰英 集英社  
 日本神話の新研究 松前 健 桜楓社  
 <演習>  
 平家物語の虚構と真実 上横手雅敬 講談社  
 平家物語の世界 村井康彦 徳間書店  
 平家物語全注釈 上・中・下 富倉徳次郎 角川書店  
 文学部 (英語・英文)  
 安 徳 典 光 <英作文>  
 The contemporary writer; a practical rhetoric. Winterowd Harcourt Brace Jovanovich  
 A handbook for scholars. Van Leunen Knopf  
 A handbook for student writers. Willingham Harcourt Brace Jovanovich  
 Patterns in language and writing. Akin Van Nostrand Reinhold  
 Writing, reading and language growth. Cramer Merrill  
 <英文学講読 (詩)>  
 英詩概論 斉藤 勇 研究社  
 英詩の文法 池上嘉彦 研究社  
 英詩とその背景 ティリヤード 南雲堂  
 イギリス浪漫詩の詩法 小川和夫 研究社  
 イギリス詩文選 斉藤 勇 研究社

## ＜演習＞

- A background to English. Tregidgo Longman  
 Britain today. Musman Longman  
 Life in modern Britain. Bromhead Longman  
 Literary landscapes of the British Isles.  
 Daiches Paddington  
 Trends in British society since 1930. Halsey  
 Macmillan

## 江崎義彦＜英文学講読（詩）＞

- ブレイク研究 梅津済美 八潮出版社  
 ブレイクの世界 土屋繁子 研究社  
 ブレイクの生涯と作品 並河 亮 原書房  
 ウィリアム・ブレイク 熊代壮歩 北星堂  
 ウィリアム・ブレイク 並河 亮 原書房

## ＜演習＞

- イギリス・ロマン派詩人 磯田光一 河出書房  
 キーツ 松浦 暢 吾妻書房  
 キーツ論考 阪田勝三 南雲堂  
 キーツとロマン派の伝統 水之江有一 北星堂  
 ジョン・キーツ研究 津田迪雄 創元社

## 福田靖＜貿易論＞

- 貿易経営論 渡部浩太郎 フタバ書店  
 貿易取引 石田貞夫（他） 有斐閣  
 国際マーケティング管理 カトーラ（他） ミネルヴァ書房  
 総合商社 塩田長英 日本経済新聞社

## ＜商業英語＞

- Business letters. Elliot Paperfront  
 英文ビジネスレターの技法 平田重行 ダイヤモンド社  
 入門商業英語 平田重行 同文館  
 商業英語の実践 羽田三郎 日本経済新聞社  
 体系貿易英語 石田貞夫 白桃書房

## ＜演習＞

- インターナショナル・マーケティング フェアウェザー  
 ダイヤモンド社  
 国際経営論 フェアウェザー ダイヤモンド社  
 多国籍企業 コールド 東洋経済

## 古屋靖二＜英文学講読（劇）英文Ⅱイ＞

- John Osborne ; Look back in anger (Casebook  
 series). Brown Macmillan  
 怒りの演劇 ティラー 研究社

## ＜演習＞

- ハムレット 福田恒存 新潮社  
 ハムレットの悲劇 大山俊一 篠崎書林  
 Stratford-Upon-Avon studies 5; Hamlet. Brown  
 Edward Arnold

- What happens in Hamlet. Wilson Cambridge

## ＜英文学講読（劇）英専Ⅲウ＞

- A Shakespeare glossary. Onions Oxford  
 Twentieth century interpretations of Twelfth  
 Night. King Prentice-Hall  
 ホートン, F.M. ＜スピーチ・スピーチⅠ＞  
 Essentials of public communication. Andrews  
 John Wiley

- Principles and types of speech communication.  
 Monroe Scott Foresman  
 Principles of speech communication. Monroe  
 Scott Foresman

## ＜演習＞

- The interpersonal communication book. De Vito  
 Harper  
 Persuasion ; communication and interpersonal  
 relations. Ross Prentice-Hall

## 泉マズ子＜英作文＞

- Vocabulary improvement. Davis McGraw-Hill  
 ＜スピーチⅡ＞  
 Interpretation. Maclay Random House  
 Interpretative reading. Lwery  
 Appleton Century

- Theatres of interpretation. Haas  
 Robuts Burton  
 Training the speaking voice. Anderson Oxford

## ＜コミュニケーション概論＞

- Basic readings in communication theory.  
 Mortensen Harper  
 文化とコミュニケーション 加藤秀俊 思索社  
 Orientation to public communication. Chesebro  
 Modcom  
 The process of communication. Berlo Rinehart

## ＜演習＞

- Intercultural communication. Samover  
 Wadsworth  
 Kinesics and context. Birdwhistell  
 Univ. of Pennsylvania  
 Nonverbal communication. Hinde  
 Cambridge Univ.  
 Nonverbal communication. Knapp Rinehart

- Through the communication barrier. Hayakawa  
 Harper



- 川 瀬 義 清 <英文法>  
現代英語文法 大学編 クワーク (他) 紀伊国屋書店  
黒 瀬 保 <英文学講読 (批評3年生)>  
運命の女神 黒瀬 保 南雲堂  
<英文学講読 (詩4年生)>  
The goddess fortune in John Lydgate's works.  
黒瀬 保 三省堂  
久 屋 孝 夫 <英文法>  
動詞時制の研究 細江逸記 篠崎書林  
動詞叙法の研究 細江逸記 篠崎書林  
エリザベス朝英語概説 ポワリエ 篠崎書林  
三上章著作集 くろしお出版  
日本語動詞のアспект 金田一春彦 むぎ書房  
岡 正 樹 <英語学講読>  
英語の語用論 毛利可信 大修館  
現代英語の用法大成 原沢正喜 大修館  
海外英語学論叢 '79 英潮社  
音韻論総覧 ヨーアンセン 大修館  
生成音韻論 シェイン 研究社  
佐渡谷 重 信 <米文学史>  
アメリカ文学の展開 スピラー 北星堂  
アメリカ文学史 カンリッフ 北星堂  
アメリカ文学思潮史 福田陸太郎 (他) 中教出版  
アメリカ小説論 佐渡谷重信 泰文堂  
総説アメリカ文学史 大橋健三郎 (他) 研究社  
<演習>  
エミリー・ディッキンソンの生涯 フィッシャー  
東京メディカル・センター  
世に与えた彼女の手紙 ロングワース  
東京メディカル・センター  
<比較文学>  
比較文学 ディーゲム 清水弘文堂  
比較文学の理論 芳賀 徹 (他) 東大出版会  
日本近代文学の成立 上・下 佐渡谷重信 明治書院

## 文学部 (仏語・仏文)

- 有 田 忠 郎 <フランス文学概論>  
フランス文学講座第3巻「詩」 阿部良雄 大修館  
世界文学大系 43 マラルメ (他) 筑摩書房  
<フランス文学講読 (詩)>  
フランス詩法概説 グラモン 駿河台出版社  
パリの憂愁 河盛好蔵 河出書房  
富 盛 伸 夫 <フランス語史>  
フランス語学入門 島岡 茂 大学書林  
フランス語の歴史 島岡 茂 大学書林  
フランス語の進化と構造 ワルトブルク 白水社

- フランス語史 ショーラン 白水社  
現代フランス語のできるまで 家島光一郎 (他) 白水社  
<フランス文明論講読>  
中世の説話 松原秀一 東京書籍  
ふらんす民話大観 田辺貞之助 青蛙房  
昔話とメルヘン ライエン 岩崎美術社  
世界の民話 (2) 南欧 小沢俊夫 ぎょうせい  
<演習>  
言語学の問題と方法 ワルトブルク 紀伊国屋書店  
一般言語学講義 ソシュール 岩波書店  
一般言語学とフランス語学 パイイ 岩波書店  
ソシュール カラー 岩波書店  
ソシュール ムーナン 大修館

## 文学部 (児童教育学科)

- 堺 太 郎 <演習>  
心身障害児教育の原理 伊藤隆二 福村出版  
心身障害児の心理 田中農夫男 福村出版  
障害児教育 理論と実際 中野善達 (他) 福村出版  
障害児の早期教育 村井潤一 (他) ミネルヴァ書房  
統合教育 障害児教育の動向 辻村泰男 (他) 福村出版

## &lt;児童福祉学&gt;

- 保育を学ぶもののための児童福祉 吉田宏岳 (他) 福村出版  
児童福祉 福田垂稔 (他) 医歯薬出版  
児童福祉 井垣章二 ミネルヴァ書房  
児童福祉概説 中野善達 (他) 福村出版  
児童福祉の理論と実践 井上 肇 川島書店

## &lt;社会福祉学Ⅰ&gt;

- 解説社会福祉 一番ヶ瀬康子 医歯薬出版  
教養としての社会福祉 吉田宏岳 川島書店  
社会福祉 吉田宏岳 (他) 福村出版  
社会福祉事業辞典 塚本 哲 (他) ミネルヴァ書房  
社会福祉六法 昭和55年度版 新日本法規

## &lt;社会福祉学Ⅱ&gt;

- 児童福祉ケースワーク 藤本 昇 誠信書房  
日本のケースワーク 松本武子 (他) 家政教育社  
社会福祉Ⅱ 福田垂稔 (他) 医歯薬出版  
社会福祉の方法 重田信一 (他) 川島書店  
ソーシャル・グループワーク 服部 正 ミネルヴァ書房

## &lt;養護原理Ⅱ&gt;

- 愛と共感の教育 糸賀一雄 柏樹社  
福祉の思想 糸賀一雄 NHK

- 保育と福祉のための乳幼児臨床心理学 岩城正彦(他) 川島書店  
 心身障害者福祉 小島蓉子 誠信書房  
 障害児教育一般原理 石部元雄(他) 福村出版  
 <保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ>  
 保育実習 福田垂穂(他) 医歯薬出版  
 保育実習の手引 中央幼児教育研究会 学芸図書  
 保育所実習 斉藤 謙(他) 川島書店  
 施設保育・養護の実際 小林提樹(他) 日本小児医事出版  
 施設収容児童の養護原理 碓井隆次 家政教育社  
 上 野 武 <教育哲学>  
 実存哲学と教育学 ボルノー 理想社  
 人間学的に見た教育学 ボルノー 玉川大学出版部
- 商学部**  
 馬 場 克 三 <経営学総論>  
 現代経営学 伊藤淳巳 白桃書房  
 現代企業入門 土屋守章 日本経済新聞社  
 経営学 1.2.3. 高柳 暁(他) 有斐閣  
 経営学総論 武村 勇 森山書店  
 経営学通論 古川栄一 同文館  
 ブラックフォード, M.G. <アメリカ経営・経済史>  
 American business history. Kroos Prentice-Hall  
 アメリカ経営史 上・下 クルース(他) 東洋経済  
 古 林 輝 久 <労務管理論>  
 アメリカ労務管理史論 泉 卓二 ミネルヴァ書房  
 現代企業の管理と組織 植村省三(他) 白桃書房  
 現代「合理化」と労務管理 高堂俊弥(他) ミネルヴァ書房  
 社会システム論 公文俊平 日本経済新聞社  
 ユーゴスラビア型産業民主主義 アディゼス 時潮社  
 <経営労務論>  
 文明としてのイエ社会 村上泰亮(他) 中央公論社  
 賃労働理論の根本問題 村串仁三郎 時潮社  
 変貌する労使構造 小泉幸之輔 時潮社  
 日本人の経済行動 上・下 隅谷三喜男 東洋経済  
 日本的経営の現状と展望 伊藤淳巳 白桃書房  
 後 藤 泰 二 <保険論>  
 保険業界 広海孝一 教育社  
 保険経済概論 馬場克三(他) 国元書房  
 生命保険業界 平井乙也(他) 教育社  
 損害保険業界 田中英男 教育社  
 <経営財務論>  
 経営財務論 片山伍一(他) ミネルヴァ書房
- 経営財務論 高橋昭三 森山書店  
 <演習Ⅰ・Ⅱ>  
 現代企業の支配構造 西山忠範 有斐閣  
 法人資本主義の構造 奥村 宏 日本評論社  
 経営者支配論 村田 稔 東洋経済  
 平 田 正 敏 <計量経営学>  
 現代経営分析 国村道雄 白桃書房  
 情報システムのためのPL/1 根岸正光 近代科学社  
 会計測定理論 井尻雄士 中央経済社  
 多目標と階層組織の管理会計 門田安弘 同文館  
 財務分析のシュミレーション 平田正敏 森山書店  
 <財務管理論>  
 経営財務講義 諸井勝之助 東大出版会  
 ポートフォリオ分析の理論 佐藤義信 中央経済社  
 証券価格論 小野二郎 同文館  
 投資決定論 柴川林也 同文館  
 財務管理と数理計画法 平田正敏 森山書店  
 井 田 雄 平 <貿易論>  
 開発経済学再考 杉谷 滋 東洋経済  
 国際経済学要論 行沢健三 ミネルヴァ書房  
 南北問題 森田桐郎 日本評論社  
 総合商社と世界経済 大木保男 東大出版会  
 <演習Ⅰ>  
 エネルギーとエントロピーの経済学 室田 武 東洋経済  
 多国籍企業と発展途上国 尾崎彦朔(他) 東大出版会  
 低開発国経済論の構造 本多健吉 新評論  
 <演習Ⅱ>  
 資本輸出論と南北問題 柳田 侃 日本評論社  
 井 上 康 男 <原価計算論>  
 中小企業のための原価計算 日本生産性本部  
 原価計算論 横浜市立大学会計学研究室 同文館  
 経営原価計算論 桜井通晴 中央経済社  
 工業会計精説 原田行男(他) 中央経済社  
 最新原価計算講義 溝口一雄 中央経済社  
 <管理会計論>  
 簿記論 税務経理協会  
 現代原価計算論 石山 傳 多賀出版  
 原価計算 津曲直躬(他) 有斐閣  
 原価計算問題詳説 中山雅博 多賀出版  
 管理会計論 横浜市立大学会計学研究室 同文館  
 小 森 俊 介 <マーケティング論>  
 現代経済の制度的機構 宮沢健一 岩波書店  
 マーケティング理論 ハント 千倉書房  
 マーケティング・サイエンスの系譜 荒川祐吉 千倉書房  
 日本の地域構造 1~6 北村嘉行(他) 大明堂



- 消費者の意思決定過程 ニコシア 東洋経済  
 <広告論>  
 意思決定の構造 ミラー (他) 同文館  
 意思と性格の心理学 戸川行男 金子書房  
 広告論序説 指宿忠孝 白桃書房  
 人間の行動学 南 博 岩波書店  
 社会心理学 ニューカム (他) 岩波書店  
 <演習Ⅱ>  
 物価史 高須賀義博 東洋経済  
 物流システム総合シリーズ 1.2.3. 現代工学社  
 公共サービスの理論と政策 能勢哲也  
 日本経済新聞社  
 シュムペーター体系とポスト・ケインジアン体系  
 亀畑義彦 泉文堂  
 新製品開発管理 丸善  
 白 樫 三四郎 <経営心理学>  
 経営行動の心理学 豊原恒男 (他) ダイヤモンド社  
 リーダーシップ行動の科学 三隅二不二 ダイヤモンド社  
 人間関係の心理学 豊原恒男 (他) ダイヤモンド社  
 産業心理学 安藤瑞夫 新曜社  
 組織行動の心理学 豊原恒男 (他) ダイヤモンド社  
 <外書講読Ⅰ>  
 新しい管理者像の探究 フィードラー 産業能率短大  
 リーダー・マッチ理論によるリーダーシップ教科書  
 フィードラー プレジデント社  
 西南学院大学商学論集 第19巻 第3号 (1972年)・  
 第22巻 第2号・第3号 (1975年) 西南学院大学  
 組織科学 第10巻 第4号 (1976年)・第12巻 第2  
 号 (1978年) 組織学会 丸善  
 <演習Ⅰ (26)>  
 グループ・ダイナミックス 1.2. カートライト (他)  
 誠信書房  
 リーダーシップ 三隅二不二 ダイヤモンド社  
 人間行動の社会心理学 原岡一馬 金子書房  
 社会心理学 原岡一馬 学苑社  
 態度変容の社会心理学 原岡一馬 金子書房  
 <演習Ⅰ (27)>  
 冷淡な傍観者 ラタネ (他) ブレーン出版  
 社会心理学 ニューカム (他) 岩波書店  
 心理学的社会心理学 中村陽吉 光生館  
 対人関係の心理学 ハイダー 誠信書房  
 対人行動の心理学 中村陽吉 大日本図書  
 田 村 茂 夫 <商法A>  
 現代企業の支配構造 西山忠範 有斐閣  
 株式制度改正試案の論点 商事法務研究会  
 会社法根本改正の論点 商事法務研究会  
 会社機関改正試案の論点 商事法務研究会  
**経済学部**  
 吾 郷 健 二 <国際経済論>  
 現代世界経済論 木下悦二 新評論  
 現代世界経済論 柳田 侃 (他) 日本評論社  
 国際通貨体制成立史 上・下 ガードナー 東洋経済  
 南北問題入門 小野一郎 (他) 有斐閣  
 資本輸出論と南北問題 柳田 侃 日本評論社  
 <低開発国経済論>  
 南北問題 川田 侃 東大出版会  
 南北問題入門 小野一郎 (他) 有斐閣  
 世界資本主義と低開発 フランク 拓植書房  
 世界的規模における資本蓄積 第1.2.分冊 アミ  
 拓植書房  
 新国際経済秩序の基礎研究 山岡喜久雄 早大出版部  
 <演習Ⅰ>  
 概説国際経済論 楊井克巳 東大出版会  
 現代世界経済論 木下悦二 新評論  
 経済人類学 栗本慎一郎 東洋経済  
 国際経済の成長 ケンウッド (他) 文真堂  
 世界経済の中の日本経済 内田勝敏 創元社  
 古 川 卓 萬 <財政学総論>  
 日本の国債管理政策 中島将隆 東洋経済  
 戦後税制史 佐藤 進 (他) 税務経理協会  
 財政学 佐藤 進 税務経理協会  
 財政の構造 中桐宏文 世界書院  
 原 田 三喜雄 <日本経済史>  
 日本経済史 石井寛治 東大出版会  
 日本経済史 永原慶二 有斐閣  
 日本経済史 山口和雄 筑摩書房  
 <農業政策論>  
 経済発展理論 鳥居泰彦 東洋経済  
 経済発展論 ギル 東洋経済  
 農業発展の経済学 時事新報社  
 <演習Ⅰ>  
 新しい経済 ティンバーゲン 岩波書店  
 80年代の通商産業政策ビジョン 産業構造審議会  
 通商産業調査会  
 国際秩序の再編成 ティンバーゲン ダイヤモンド社  
 浪費の時代を超えて カギール (他) ダイヤモンド社  
 世界経済の形成 ティンバーゲン 竹内書店  
 木 村 毅 <社会政策総論>  
 現代の社会政策 石畑良太郎 (他) 有斐閣  
 各国法制に見る職場の男女平等 森山真弓 東京布井出版

- 七つの国の労働運動 上・下 マルチネ 岩波書店  
労働力商品と社会政策 齊藤義博 八千代出版  
＜演習Ⅰ・Ⅱ＞  
高齢者問題の現状 総理府 大蔵省印刷局  
高齢者の労働能力 齊藤 一 (他) 労働科学研究所  
日本の雇用問題 小林謙一 東大出版会  
労働問題研究委員会報告 日経連  
社会保障の計量経済学 社会保障モデル開発研究会  
大蔵省印刷局
- 三 上 操 ＜統計学総論＞  
新編応用推計学 三上 操 内田老鶴圃  
＜演習Ⅰ・Ⅱ＞  
ORへのアプローチ 三上 操 内田老鶴圃
- 日 村 茂 夫 ＜商法A＞  
現代企業の支配構造 西山忠範 有斐閣  
株式制度改正試案の論点 商事法務研究会  
会社法根本改正の論点 商事法務研究会  
会社機関改正試案の論点 商事法務研究会
- 時 政 勳 ＜経済原論A＞  
経済学大辞典 I 東洋経済  
マクロ経済学 ブランソン マグロウヒル好学社  
マクロ経済の理論 足立英之 (他) 有斐閣  
ミクロ経済の理解 奥口孝二 (他) 有斐閣  
＜演習＞  
現代経済学の数学基礎 上・下 チャン マグロウヒル好学社  
国民所得理論 宮沢健一 筑摩書房
- 法学部**
- 堀 真 清＜政治史＞  
近代日本の思想 3 宮本盛太郎 (他) 有斐閣  
日本近代史 3 藤原 彰 岩波書店  
日本のファシズム 3 早大社研ファシズム研究部 早大出版部  
日本政党史論 第5巻 升味準之輔 東大出版会  
昭和政治思想研究 河原 宏 早大出版部  
＜外書講読＞  
十五年戦争 伊藤 隆 小学館  
日本の外交 入江 明 中央公論社  
太平洋戦争 家永三郎 岩波書店  
太平洋戦争史 1-4 歴史学研究会 青木書店  
＜演習＞  
ドイツの独裁 1・2 ブラッハー 岩波書店  
ファシズム ミシエル 白水社  
日本ファシズム論 歴史科学協議会 校倉書房  
日本のファシズム 河原 宏 (他) 有斐閣
- 伊 藤 不二男 ＜法哲学＞  
法思想史入門 天野和夫 有斐閣  
法哲学概論 加藤新平 有斐閣  
国際法 3 田岡良一 有斐閣  
国際組織法 高野雄一 有斐閣  
＜国際法Ⅰ・Ⅱ＞  
条約集 横田喜三郎 (他) 有斐閣  
基本条約・資料集 田畑茂二郎 (他) 有信堂  
国際法 1・2 田畑茂二郎 (他) 有斐閣  
国際法 田岡良一 勁草書房
- 河 島 幸 夫 ＜政治学原論＞  
現代キリスト教倫理 ミューラー YMCA出版  
現代をいかに生きるか 宮田光雄 日基督教団出版局  
人権の思想 フーバー (他) 新教出版社  
マキャヴェリからレーニンまで フォルレンダー 創文社  
ワイマール共和国の政治思想 ゾントハイマー ミネルヴァ書房  
＜政治思想史＞  
現代における平和と人権 田畑 忍 日本評論社  
平和と人権 日本平和学会 早大出版部  
近代人権宣言論 関 之 勁草書房  
キリスト教史 藤代泰三 YMCA出版  
国際社会における人権 高野雄一 岩波書店  
＜基礎演習＞  
ドイツ憲法史 小林孝輔 学陽書房  
ファシズムへの道 清水 誠 日本評論社  
現代ドイツの歴史学 西村貞二 未来社  
評伝トーマス・マン 菊盛英夫 筑摩書房  
解放と変革の神学 グティエレス (他) 新教出版社  
＜外書講読＞  
生きるということ フロム 紀伊国屋書店  
西ドイツ憲法裁判論 フリーゼンハーン 有信堂  
パウル・ティリッヒ パウク ヨルダン社  
西洋哲学史 ラッセル みすず書房  
戦争と人権 宮崎繁樹 学陽書房  
＜演習＞  
ドイツ福音主義教会法研究 和田昌衛 明治学院  
カントの政治哲学 原田 鋼 有斐閣  
近代史における政治と思想 柴田三千雄 山川出版社  
国際人権条約・資料集 芹田健太郎 有信堂  
社会福音運動の研究 ホブキンズ 恒星社
- 中 森 宏 ＜民事訴訟法Ⅰ＞  
逐条概説 民事執行法 浦野雄幸 商事法務研究会  
演習民事訴訟法 上 小山 昇 (他) 青林書院  
民事訴訟法 新堂幸司 筑摩書房



|                         |         |                                                  |            |
|-------------------------|---------|--------------------------------------------------|------------|
| 民事訴訟法 (司法試験シリーズ)        | 日本評論社   | 〈演習〉                                             |            |
| 民事訴訟法の争点 三ヶ月章 (他)       | 有斐閣     | 解説・会社法改正 その1 株式 河本一郎                             | 日本評論社      |
| 〈民事訴訟法Ⅱ〉                |         |                                                  |            |
| 民事訴訟法判例百選 正・続 (別冊ジュリスト) | 有斐閣     | 会社法 2 上柳克郎 (他)                                   | 有斐閣        |
| 倒産判例百選 (別冊ジュリスト)        | 有斐閣     | 会社法の論理 倉沢康一郎                                     | 中央経済社      |
| 大内和臣 〈国際法〉              |         | 商法Ⅰ 判例と学説 5 北沢正啓                                 | 日本評論社      |
| ケースブック国際法 田畑茂二郎 (他)     | 有信堂     | 商法Ⅱ 判例と学説 6 河本一郎                                 | 日本評論社      |
| 国際法 田岡良一                | 勁草書房    |                                                  |            |
| 国際条約集 横田喜三郎 (他)         | 有斐閣     |                                                  |            |
| 高田源清 〈商法Ⅱ〉              |         | <b>教職課程</b>                                      |            |
| アメリカ閉鎖会社法 浜田道代          | 商事法務研究会 | 久屋孝夫 〈英語科教育法〉                                    |            |
| 現物出資の研究 志村治美            | 有斐閣     | 新しい英語教育の研究                                       | 三友社        |
| 閉鎖的会社の法理と立法 酒巻俊雄        | 日本評論社   | 中学校の英語教育                                         | 三友社        |
| イギリス会社法概説 小町谷操三         | 有斐閣     | 英語教育大論争 平泉 渉 (他)                                 | 講談社        |
| 〈経済法〉                   |         | 高校の外国語教育                                         | 三友         |
| 独占禁止法 今村成和              | 有斐閣     | 日本の外国語教育 '71                                     | 三友社        |
| 不正競争防止法概説 小野昌延          | 有斐閣     | 資料日本英学史 2 川澄哲夫                                   | 大修館        |
| 協同組合法の研究 大塚喜一郎          | 有斐閣     | 私たちの教育課程研究                                       | 一ツ橋書房      |
| 無体財産法概論 紋谷暢男            | 有斐閣     | 岡正樹 〈英語科教育法〉                                     |            |
| 高橋貞夫 〈労働法Ⅰ・Ⅱ〉           |         | 英語教育のアイデア 橘 健                                    | 大修館        |
| 判例に学ぶ労働法 萩原清彦           | 有斐閣     | 外国語教育の指導技術 ビローズ                                  | 大修館        |
| 官公労働法の基礎 青木宗也 (他)       | 青林書院    | 言語教育分析 マッケイ                                      | 大修館        |
| コンメンタル労働基準法 下井隆史 (他)    | 有斐閣     | 言語教育の基本問題 ボールドマン                                 | 大修館        |
| 労働法総論 石井照久 (他)          | 有斐閣     | 言語理論と言語教育 ハリデー                                   | 大修館        |
| 田村茂夫 〈商法Ⅰ〉              |         | ヤング, H. H. 〈フランス語科教育法〉                           |            |
| 企業法総論 木内宜彦              | 勁草書房    | 外国語教育と語学ラボラトリー スタック 玉川大学                         |            |
| コンメンタル証券取引法 田中誠二 (他)    | 勁草書房    | 外国語教育と心理学 リヴァース 紀伊国屋書店                           |            |
| 商法総則 鴻 常夫               | 弘文堂     | 言語と言語学習 ブルックス                                    | 大修館        |
| 田辺康平 〈商法Ⅲ〉              |         | <b>追加</b>                                        |            |
| 注釈手形法小切手法 大隅健一郎 (他)     | 有斐閣     | <b>文学部 (仏語・仏文)</b>                               |            |
| 現代手形小切手法 高窪利一           | 経済法令研究会 | ヤング, H. H. 〈フランス語会話〉                             |            |
| 会社法入門 蓮井良憲 (他)          | 青林書院    | Guide pédagogique pour le professeur de français |            |
| シンポジウム手形小切手法 木内宜彦 (他)   | 青林書院    | langue étrangère. Reboullet                      | ・ Hachette |
| 手形・小切手法 酒巻俊雄            | 同文館     |                                                  |            |
| 〈商法Ⅳ〉                   |         |                                                  |            |
| 保険法演習 1 田辺康平 (他)        | 文真堂     |                                                  |            |
| 保険法の理論と解釈 田辺康平          | 文真堂     |                                                  |            |
| 保険契約の基本構造 田辺康平          | 有斐閣     |                                                  |            |
| 自動車保険の基礎知識 石田 満 (他)     | 海文堂     |                                                  |            |
| ロイズ保険証券生成史 木村栄一         | 海文堂     |                                                  |            |